

令和4年度 押原きつず 自己評価

この評価は、「保育環境評価スケール<乳児版>」(ITERS-R 日本語版)を基に全職員が話し合いを重ねて評価しました。400項目以上に及ぶ評価内容を点数化しています。点数は1点～7点満点です。

空間と家具	室内空間	7
	日常のケアと遊びのための家具	7
	安心して落ち着ける空間	7
	室内構成	7
	子どもに関係する展示	6.5
個人的な 日常のケア	登園／降園	7
	食事／間食	7
	午睡	7
	おむつ交換／排泄	7
	保健	7
	安全	7
聞くこと 話すこと	言葉の理解を助ける	7
	言葉の使用を助ける	7
	絵本の使用	7
活動	微細運動（手や指を使う）	7
	粗大運動（体を動かす）遊び	7
	造形	7
	音楽・リズム	4
	積み木	7
	ごっこ遊び	6.5
	砂・水遊び	7
	自然・科学	7
	テレビ・ビデオ・コンピュータ	7
	多様性の受容	5.5
相互関係	遊びと学びの見守り	7
	仲間どうしのやりとり	7
	保育者と子どものやりとり	7
	望ましい態度・習慣の育成	7

保育の構造	日課	7
	自由遊び	7
	集団活動	7
	障がいをもつ子どもへの配慮	7
保護者と保育者	保護者との連携	5
	保護者の個人的ニーズへの対応	5.5
	保育者の仕事環境	7
	保育者間の意思疎通と協力	6.5
	保育者の継続性	6.5
	保育者のスーパービジョンと評価	5.5
	保育者の研修機会	7
項目別点数の平均	空間と家具	6.9
	個人的な日常のケア	7
	聞くこと話すこと	7
	活動	6.3
	相互関係	7
	保育の構造	7
	保護者と保育者	5.3

(赤字は前年度比較で点数が下がったもの)

〈講評〉

今回の自己評価は0歳児～1歳児グループと2歳児グループのそれぞれで評価し、その平均値をまとめました。

昨年度に引き続き、園児一人一人に対するケアは丁寧な保育を日々心がけていることが評価につながりました。保育活動においては、「音楽・リズム」に触れる機会を作ることが課題として取り組んでいきたいと思っております。歌やピアノだけでなく、鈴やカスタネットなどの楽器、多様性の音楽（異なる言語の歌、世界の諸民族の音楽など）を取り入れ、子ども達の感性を育てていきたいと考えています。

今後も研修や毎日の保育の振り返りを通して、保育の質を高めていけるよう努めて参ります。何か気になる点やご意見等ありましたら職員にお伝え下さい。よろしくお願い致します。